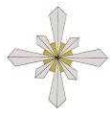


向陽中学校だより < 第 10号 >



走れ向陽!

～夢の実現めざして～

<学校目標> 「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒

<重点目標> 自己の目標達成のため、最後までやり通すことができる

平成28年9月30日(金)
 <発行者> 校長 箭内仁史
 〒976-0037
 相馬市中野字桜町76
 TEL 35-2348 Fax 35-2849

「第60回相馬地方PTA研究大会・新地大会」～団体表彰：向陽中PTA～



今月24日(土)に、相馬地方PTA研究大会・新地大会が開催され、向陽中PTAが団体表彰されました。朝のあいさつ運動や長期休業中の夜間巡回街頭補導、資源物回収など、永年生徒の健全育成に貢献した功績が認められたものです。心よりお慶び申し上げます。渡邊PTA会長さんが代表で、受賞しました。

また、講演会では東海大学スポーツ医科学研究所の小澤治夫教授より、「子どもを一人前に育てる大人の責任～学校の責任、家庭の責任、社会の責任」と題した講演がありました。東大に合格した学生、イチロー等の一流のスポーツ選手や芸能人、会社経営者、作家などあらゆる人に当てはまる、統計結果を基にした説得力のあるお話でした。できる人に共通しているのは『規則正しい生活習慣』と『自己管理能力の高さ』。よく運動する子は脳も発達しやすい。文武両道を実現する8カ条を紹介します。

- ①朝食を毎日しっかり食べる
- ②毎朝、排便がある
- ③遅刻をしない
- ④学校で眠くならない
- ⑤体をしっかり動かす
- ⑥毎日勉強は2時間(ケータイ・ネットは1時間以内)
- ⑦風呂(湯船)に入る
- ⑧睡眠は7時間(小学生は8時間)しっかりとる

PTA資源物回収～ご協力ありがとうございました～



25日(日)のPTA資源物回収には、各家庭からのたくさんの資源物がイオン駐車場に集まりました。毎回、ご協力いただいている回収業者の齋藤商店の皆様、趣旨にご賛同いただき場所を提供いただいているイオン相馬店様、和久様他、地区での回収場所におきましても、区長様他、多くの方々のご協力、ご厚意によって成立する向陽中PTA独自の事業になります。ご協力本当にありがとうございました。収益金は主に部活動支援のために有効に使わせていただきます。

相双中体連新人大会～頑張りました～

今週の27、28日に相双中体連新人大会が実施されました。平日にもかかわらず保護者の皆様のたくさんの応援ありがとうございました。1、2年生にとっては公式戦デビューの大会となります。団体では男子野球部のブロック優勝、女子卓球部の優勝を始め9団体が県大会出場権を手に入れました。どの部も夏休みからの地道な努力の成果を思う存分発揮しました。惜しくも入賞を逃しましたが、チーム一丸となって最後まで全力を尽くす姿は大変立派でした。お互いに声をかけ合い応援する姿も立派でした。本番は来年6月の中体連総合大会です。勝っても負けても、今後の自分たちの課題をはっきりさせ、一段高い目標を持って、チーム力を大切にしながら練習に励んでほしいと思います。



3日(月)	衣替え	14日(金)	中間テスト
5日(水)	県駅伝大会(～6日)	24日(月)	向陽祭準備(～28日) 28日は弁当
7日(金)	後期生徒会総会	29日(土)	向陽祭
10日(月)	Ⓞ 体育の日	31日(月)	繰替休業日



【10月】学校経営の重点

「豊かな実りと充実の2学期」を目指して

～自ら考え進んで「自己表現」、「おりめ、まじめ、けじめ」の徹底～

10月の学校生活目標「学習習慣の確立と充実した学校生活」

◇実践の重点〈自学自習の態度・身の環境整備・計画的な学習と粘り強い行動〉

(・学習計画の立案 ・後期の委員会活動 ・読書・新聞への興味、関心 ※部活動の新旧交代に伴う、責任感の指導を行う)

1 向陽中の生徒一人ひとりに「確かな学力」の定着を。

(1) 「自ら考え、学び合う授業」「意欲や質問のある授業」を積み重ねる。

○どの生徒も学習が成立している授業。→ペア、グループ学習を取り入れても最終的に『学習は個に成立する』。(終末、自分でまとめることができる。)

生徒の発表後の教師の投げかけ

「それは本当かな」→「本当だよ。なぜなら、・・・」(人の話を批判的に聴く姿勢)

「どう？」→「全く分かりません」「よくわかりました」「ここが分かりません」

「付け足して言いたい」(反応ができる)

(2) 個に応じた指導、習熟の程度を考慮した指導、主体的な学習態度を育成する。

○上位生徒、下位生徒、個に応じた指導・支援・助言

○家庭学習の充実・宿題や課題の工夫、補充指導、居残り学習等の実施

(3) 現職教育、授業研究の実践を通して、教師自身の確かな力量をつける。

○手立てを明確にした学力向上教科プランの実践で「確かな学力」の定着

○校内の授業研究(授業構想、授業案作成、研究授業、事後研究)の充実

(4) 中間テストに向けた支援(10/14)

○予想問題への充実した取り組み

○昼休み、放課後の支援、家庭学習の取り組ませ方(自主的な質問)

「よりよい学び合い」のために

- ① 問題解決的な学習の設定
- ② 全国学力学習状況調査を意識した授業
- ③ 「課題」と「まとめ」の整合性
- ④ ペア、グループ、全体での学び合いの視点の明確化
- ⑤ 学び合いの後の「まとめ」が評価問題解決に生きる
- ⑥ 生徒指導の三機能(自己決定・自己存在感・共感的な人間関係)を生かした授業
- ⑦ 授業の焦点化・視覚化・共有化
- ⑧ 日常的な生徒との対話(よい関係づくり)

2 全校(生徒・教師・保護者)一丸となって心に残る「向陽祭」(10/29)に。

(1) 生徒主体の取り組みで(テーマ「翔ける」～Run to the future～)希望を持たせる。

○生徒会役員・実行委員会を中心となった企画・準備・運営で感動を与えるものを

○生徒一人一人が輝く場、堂々と自己表現できる場を設定して、満足感、達成感を

○共に知恵を出し合い、協力して作り上げる喜びを

※学習成果の発表の場であることを意識させて

(2) 教師としての指導の充実を図る。

○進んで自己表現:生徒の意欲や主体性を最大限引き出すような指導・支援を

○おりめ・まじめ・けじめの徹底:礼儀、善悪の判断、根気強く、時刻・服装のけじめ、準備と後片付けの徹底

(3) 保護者・PTAの理解と協力を得る。

3 学校行事に本気になって取り組む姿、真剣に頑張る姿を。～目標を持たせて～

◎生徒会総会(10/7) ◎相新音楽祭(10/27) ◎向陽祭(10/29) . . .